

## 札谷 直子 氏 学位審査結果の要旨

主査：木梨 達雄

副査：中邨 智之、藺田 精昭

アレルギー疾患発症において Th2 サイトカインの産生は重要な役割を果たしている。申請者はアトピー性皮膚炎などに関与すると考えられるサイトカイン IL-33 の Th2 サイトカイン産生への効果を検討した。ヒト樹状細胞に発現する OX40L を介したナイーブ T 細胞の Th2 への *in vitro* 分化誘導系において、IL-33 は Th2 サイトカインである IL-5, IL-9, IL-13 の産生増強を誘導した。OX40L は活性化 T 細胞上の IL-33 受容体発現を増強すること、また IL-33 によって IL-4 受容体が増強することから、これらの相互作用によって Th2 サイトカイン産生増強が起こったと考えられた。またヒト Th2 メモリー細胞を用いても Th2 サイトカイン増強効果が確認された。さらにアトピー性皮膚炎患者の表皮およびリンパ節において IL-33 産生が増強していることを示した。これらの結果はアトピー性皮膚炎の病態理解に向けて有用な知見と考えられ、学位に値すると判断される。